

令和元年11月17日 日曜 午前9時～

於 構公民館

構自主防災訓練 「避難行動要支援制度」勉強会

今年の自主防災訓練は座学です。

組長、各組代表と民生委員・各種団体から80名程度の参加者がありました。

進行スケジュール

- 1 テーマ選定の背景（梶原自治会長）
- 2 講義及び実技（広畑障害者デイサービスセンター所長 竹田氏）
「障害者の在宅生活の様子、災害時に困ること」
- 3 小グループ討議（姫路市社会福祉協議会 外川氏 飾磨西地域包括支援センター 佐藤氏）
- 4 グループ発表
- 5 講評（姫路市保健福祉政策課 井澤氏）



各方面から、たくさんのサポートを得て開催されました。

来ていただいた方々に自己紹介をしていただき、勉強会がスタートしました。



梶原会長から昨今の全国的な災害や被災の状況、姫路市・構の課題などを踏まえ、この勉強会の意義とねらいを説明いただきました。

災害時は公助（公的な被災者支援）が届くまで、命を繋ぎ止める共助（ともに助け合う）が必須であり、構町の繋がり力を高めていく必要性を感じることができました。



続いて、障害を持った方の生活実態と必要なサポートについてご講義いただきました。



旅行先の外国で被災した場合、避難所で理解できない言語の放送があったとしても、内容がわからず不安ばかりが募る疑似体験もさせていただきました。

言葉の理解が苦手な障害を持つ人は、日常的にこのような不安にさらされていることを教えていただき、災害時のような特殊な状況においてパニック状態に陥ってしまうことに共感と理解ができました。

見た目で見えない障害を持つ人へのサポートの難しさを感じました。



ペットボトルを加工して作られた疑似体験グッズです。

視野が狭く、周りの状況把握が苦手な人にとって、災害時、迫る危険を認知することは大変困難です。



講義の内容を踏まえて、小グループに分かれ班別討議をすることとなりました。

普段話す機会が少ない各種団体のメンバーが混ざるように班分けをして、いろんな立場から意見を吸い上げられるように工夫されました。



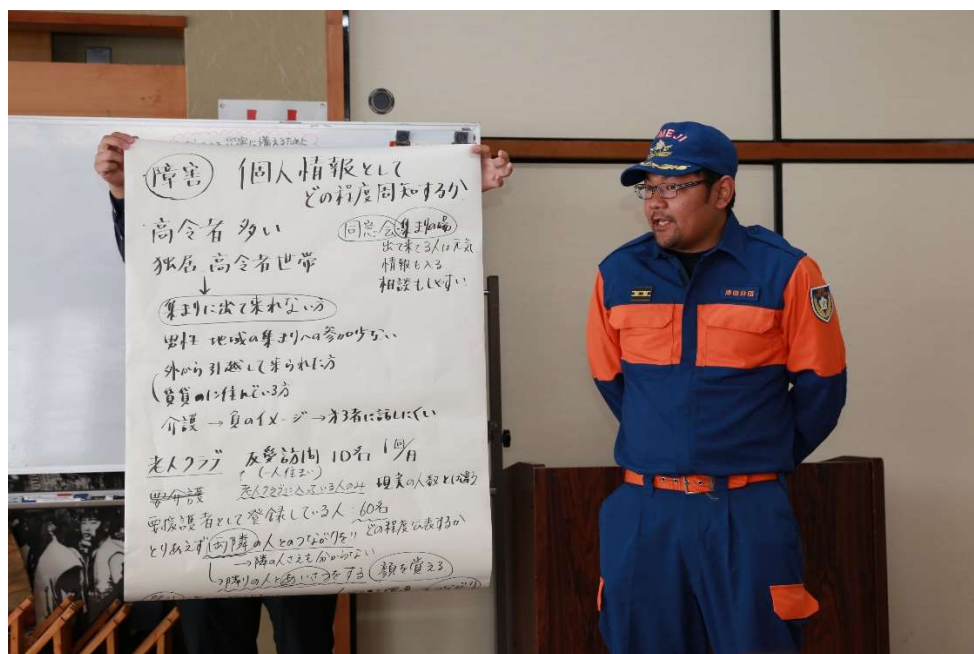


6グループに分かれ、意見を交流していきました。現在の構の取り組みや行事から町民の繋がり課題を洗い出し、課題の対策や将来の展望を語りました。

どのグループも活発に意見が飛び交い、決められた時間に話し合いを終えることができないくらい熱心な討議が繰り広げられました。

各班の討議内容は発表会で報告しあい、全員で共有しました。

どの班も個人情報との兼ね合いから町民全体で情報を共有する難しさに課題を感じつつ、隣人と気軽に挨拶を交わし、助け合える町にしたいという願いは一致していました。





各班の発表を総括して、保健福祉政策課 井澤様に講評いただきました。

今後の構町の方向性が垣間見えた意義深い勉強会となりました。

突然おこる災害に備えるために
今している活動の中で何が出来る？

川が水が溢れ 短時間で 切り面3m浸水 大雨特別警報発令

構地域の皆さん

- 相談支援員
- 居宅介護ヘルパー
- ご本人
- 通所の施設
- 医療機関
- 障害福祉課

6班

- ・行方不明、放送時と100人集まる → 構は川田、この町で次世代へ引き継ぎたい!!
- ・今日は、昼食を分けて 構分便、2.
- ・昨日、構どうした? 包括的ケア 地域民生と目指す。 加勢川 / 水尾川 清掃、取締り人が来てくれたと喜ばれた。 構は自治会よくまとまると 自慢の町。

普通の生活、昔は近所の事が知れた
今は難しくなつた 中 広く浅く、人との付き合い。 あいさつだけでも、 ねばり強く声かけ (構の人から見とらえる)

障害介護の情報は決定しにくい
把握することも難しい 現状
中 老人クラブ受委託
中 身近な人と共有できる人、できない人
→ 隣りの人と顔を合わせ、 小さなつながりを広げたい。

向こう三軒両隣、 少しハードルがある...
声かけ、近所の人の把握 (個人情報、難しい)
一人暮らしの状況、外へ発信できる? 外国人が来たら
→ 障害者の集まる所へ一歩ふみだす。 実際どんなことが出来るか考えないと ↓ 姫路市と構へ 近所の関係水)

構の行事 = 人のふかぬの量 = 顔つづみ
ハザードマップの見直し大切。 家から出て、人とふかぬ事大切。 民生も全員見守れない 区生も自分の命。 近所近所、必ず助けあひたい。 → そのために、外へ出て居る人を知りたい。 構の組織に力をつけていこう。

構で自分たちの活動
自分が活動でこまるといふ → 自治会連絡会、 自分活動でこまるといふ → 出でる人、 表れがつかない、 電話番号も分かる、 → 今ある人で、かき集め、この人達でつながろう!!

自治会に入りたい
・かき集めたい、 表れがつかない、 電話番号も分かる、 → 今ある人で、かき集め、この人達でつながろう!!

皆が参加できる町内行事
色々な事を考えて企画されている... でも参加出来ない人もいます... → どうやってつながる?

回覧板と有効活用!!
とてお役、システムで、 今日はあの家に回覧入れたい!! みたいな 1人1人の小さなチャレンジが、 次の構につなげるのとは!! 今あるものを、使った活用!!

体験学習
ワイガヤ 目撃する側、助け合う側 両方の意見が出た。 構の町づくり、希はつたが、つらくなる、やれる事をしたい。

各班の発表内容をまとめていただいた板書です。

「回覧板をいつもと違う家に回す」ことで、ささやかながら繋がりを広めていくといったアイデアも生まれました。